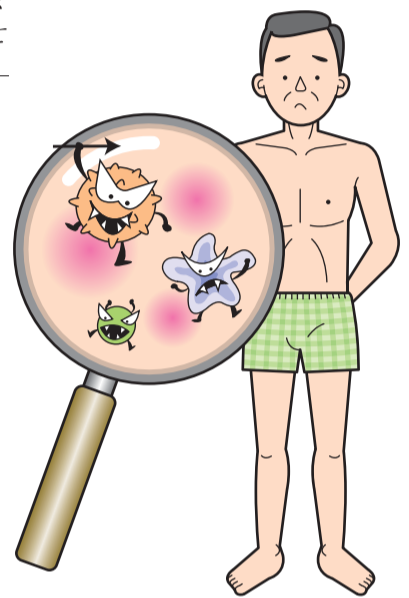


皮膚科始めました!



皮膚科 尾形 麻衣



今年4月より協和会病院で勤務させて頂いております皮膚科の尾形麻衣です。私は幼小時から研修医まで隣の豊中市在住で、研修医終了後から東京で皮膚科医として勉強してきました。この度ご縁あって、当院で勤務させて頂くことになりました。まだまだ不慣れなことが多く、皆様にご迷惑をおかけし、ご指導頂くことが多いかと思いますが、これからも宜しくお願い致します。

この度皮膚科を久しぶりに再開しますので皮膚科について少し紹介させて頂きます。皮膚科でよく遭遇する疾患としては高齢者の方では、かさかさ肌・いぼ・水虫・巻き爪、若年者ではにきび・じんましん・アトピー性皮膚炎・脱毛、小児ではいぼ・とびひ・水ぼうそう等の感染症と多岐に渡ります。皮膚疾患はあらゆる年齢で季節に伴って変化して生じます。皮膚に症状のあるもので、目で見える範囲の皮疹を診ますので、口腔粘膜・毛髪・爪も診察します。

検査は顕微鏡で真菌や疥癬・ウイルス性の細胞を観察、ダーモスコピーといった皮膚の拡大鏡を用いてホクロやいぼを観察、パッチテストでアレルギーを同定、皮膚の組織検査など皮膚科特有の検査があります。

治療は内服しなければ効果が出にくいものや、外科的処置を要するものもあります。外用療法が主体になることが多いです。慢性難治性のことも多く、日頃のケア(保清・保護・保湿)が

最も大事です。目で見える範囲です。患者さん自身が自覚して受診される

ことが多いです。高年齢者や小児では家族や周囲のスタッフが気付くことも多くあります。何か気になる皮膚症状があれば早めに受診して頂ければと思います。

まだ勤務して間もないですが、この1ヶ月で経験した症例を提示します。

症例1

疼痛を伴う巻き爪

65歳・男性

主訴は疼痛を伴う巻き爪です。数年前より巻き爪を繰り返しており、時々化膿していました。3日前より急に痛みと腫れが出現したため受診しました。右第1趾爪外側に疼痛を伴う発赤と腫脹、爪甲の陥入を認めました。



(図1)

(図1)。巻き爪と陥入爪の合併と診断し、ガター法(爪と周囲の皮膚の間に細いチューブを挿入)を行いました(図2)。



(図2)

今後巻き爪の矯正治療を行う予定です。巻き爪や陥入爪は日

常よく遭遇する疾患で症状にあわせて外科的治療も行いますが、長期生活に支障が出ないようになるべく爪を切らずに処置をします。炎症がある場合は本例のようにガター法やテーピング、炎症軽快後に疼痛があればレーザーやワイヤー、爪を広げるクリップなどを併用して爪の矯正を行います。個人によって巻き爪の原因や状況が異なり、治療法も適宜組み合わせます。

症例2

掻痒を伴う躯幹の皮疹

82歳・男性

主訴は掻痒を伴う躯幹の皮疹です。今年2月に他院で汗疱状湿疹の診断のもとステロイド軟膏外用を処方されましたが軽快みられず、今回受診しました。手先に水疱はありますが、手掌に多数の鱗屑(疥癬トンネル)があり、躯幹に鱗屑・痂皮を伴う紅斑が播種状に見られました。直接検鏡で疥癬虫体・虫卵ともに陽性(図3)で疥癬と診断し、イベルメク



(図3)

チン内服とクロタミトン軟膏外用を開始しました。2回内服後に掻痒・皮疹ともに軽快し、虫体・虫卵は消失しました。疥癬ではダニが駆除された後も皮疹や掻痒が長期間残る場合があります。必要な投薬を避けるために直接検鏡での確認が重要です。

症例3

左手背の皮疹

77歳・女性

主訴は左手背の皮疹(図4)です。約1年前より左手背に紅斑が出現し、ステロイド軟膏などを処方され外用していましたが、軽快ないため当科受診しました。左手背に1cm大の角化性淡紅色局面があり、自覚症状はありません。



(図4)

皮膚生検を施行し、病理組織検査よりポーン病と診断しました。

今後手術で切除予定です。ポーン病は高齢者の全身各所に生じうる表皮内癌ですが、慢性湿疹に類似するため外用加療などで長年漫然と無為に加療されていることが少なくありません。時に多発、再発を繰り返したり、真皮内に浸潤して有棘細胞癌となり、転移することもあります。治療は完全切除が基本ですが、個人によって液体窒素による凍結療法や抗腫瘍薬の外用を行います。

症例4

眉間部のいぼ

75歳・男性

主訴は眉間部のいぼです。約10年前より眉間部にいぼ様結節あり、他院で加療しました(詳細不明)。最近再度増大傾向があり、今回受診しました。眉間部に1cm大のドーム状に隆起した表面平滑の黒色結節(図5)がありました。ダーモスコピーで樹枝状血管や葉状領域がみられ、基底細胞癌と考え、植皮を含めた切除目的で他院に紹介しました。基底細胞癌は高齢者の顔面に好発する黒色の結節で、局所破壊性があります。転移はまれで切除で完治できますが、再発を繰り返して他臓器へ転移する例も



(図5)

病院理念

知・技・心

専門的な知識と技術の向上を図り
心をこめて安心の医療を提供します

基本方針

- 「患者様中心」を常に心がけ、満足な医療を提供します
- 患者様の人権を尊重し、公平な医療を提供します
- 急性期から慢性期まで、地域と連携した医療を提供します
- チーム医療を推進し、質の高い医療を提供します
- 人員・設備・環境を整え、安心して安全な医療を提供します

協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代)06-6339-3455

- 理事長/北川 透
- 院長/増田 公人
- 開院年月日/1988年(S63)3月
- 診療科目/内科、消化器科、整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚科
- 専門外来/泌尿器科(月曜日13:00~14:45) 神経内科(木曜日 9:00~11:30)
- 診察時間/午前診 9:00~12:00(月~土曜日)
- ※救急医療については、24時間お受けしております。

あります。一見、普通のいぼの様にみえますが、急に増大したり、潰瘍を形成して自覚することが多いです。普通にいぼであれば、経過観察や液体窒素による冷凍凝固・外用・レーザーなどで対応しますが、本例のような皮膚悪性腫瘍は症例3と同様に完全切除します。

症例も含めて少し皮膚科について紹介させて頂きました。以上のように皮膚疾患は多岐に渡ります。これ何だろうな、何か様子がおかしいな、最近急に変わったな、ということがあれば早めを受診して頂ければと思います。これから宜しくお願い致します。

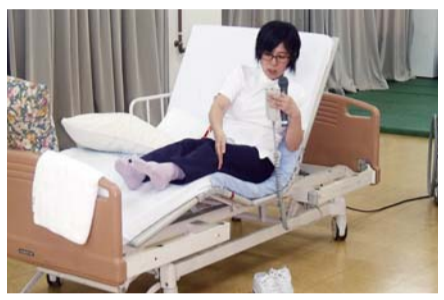
介護講座

5月31日

介護講座が5月31日に開催されました。今回は「拘縮予防とポジショニング」というテーマで、当院理学療法科科長の野谷が講師を務めました。

30名を越す方にお集まり頂き、ストレッチの基本や、ベッド上での姿勢、車椅子に座った時の姿勢などについて、実演を交えながらの話でした。

ベッド上で過ごす時間が多い高齢者の方や、脳卒中後の患者さん・ご家族の方々にとっては身近なテーマであったと思います。姿勢に気を配ったり、ご家族でも出来るストレッチを日々継続することだけで、からだの変形の進行を緩やかにしたり、床ずれ予防となり、様々な二次的障害の予防に繋がります。関節が固くならないように『固くなる前から』今回のお話のポイントを日々の介護の中に取り入れて頂ければと思います。
(ST科主任 森岡千代子)



看護フェア

5月13日・14日

看護の日にちなみ、毎年恒例となった看護フェアを5月13日、14日と開催しました。5月13日は病院1階で、翌14日はイズミヤ千里丘店にて開催させていただき、看護師による血圧・体脂肪測定だけでなく例年好評の骨密度測定を行い、参加された方には「初めて計りました」「良かったです」と喜んでいただきました。その他にも認定看護師による健康相談や、栄養士による栄養相談、リハビリセラピストによる体操紹介など多職種による相談コーナーを設け、様々な相談を受けました。

健康や今後の生活に対する様々なお話しをする機会となり、職員もよい経験になったと思います。参加された方のアンケートでは定期的に開催してほしいという意見も多く、健康に対する意識の高さが表れていると感じました。これからも毎年5月に看護フェアを行いますので、今年度参加された方、また参加されることがない方もぜひご参加ください。
(外来看護部 森山博美)



病院1F



イズミヤ千里丘店



平成26年度
新入職員

フレッシュパワーで頑張ります!

平成26年度、看護部門、パラメディカル部門、医事部門、総勢27名の新入職者です。多くの事を学び、吸収し、現場で活かしたいと思えます!ご指導宜しくおねがい致します!
(事務部) 木村可奈子



編集後記 今後も委員共々、記事内容を十分に検討して行きたいと考えております。次号発行は、12月頃予定です。
《広報誌委員会：放射線科 北村博司》

回復期リハビリテーション病棟



なごみ
和の場

当院の3階東・西病棟は、回復期リハビリテーション病棟であり、日曜祝日を問わず365日リハビリを実施しています。さらに、リハビリ時間以外にも充実したサービスを提供できるよう様々な取り組みをしています。今回はその取り組みについてご紹介します。

3階東病棟では毎朝ラジオ体操を行っています。朝食後に身体を動かすことで、1日を元気に過ごせるよう、生活のリズムを作ることを目的としています。一方、3階西病棟では週1回昼食後の時間に、エンジョイクラブと称したゲームやDVD鑑賞で楽しく時間を過ごしてもらっています。その他にも、病棟行事として年間4回、春の会、七夕の会、運動会、クリスマス会など1時間程度のレクリエーションを行っています。スタッフによる出し物や風船バレーなどゲームの実施です。どの行事も、たくさんの患者様が集まり、笑い声や笑顔でいっぱいになります。

こうした入院生活の中でのリハビリ以外の時間も患者様にとって充実した時間になるよう、これからもスタッフ一同力を合わせて様々な取り組みをしていきたいと考えています。

(PT科リーダー 河西由喜)

節分



ひなまつり



ラジオ体操



クリスマス会

